

小田原創友クラブ

第 67 号

【発行】小田原市老人クラブ連合会

〒250-0055 小田原市久野115-2 ☎(0465)32-5800 編集 創友クラブ教養部

【印刷・編集協力】株博報社 関東支社 神奈川県厚木市愛甲1-8-39 ☎(046)280-6001(代)



写真提供：小田原市広報広聴課 《小田原港より箱根山を望む》



私たちは、小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



地域コミュニティと共に
創友クラブの輪を広げよう！

小田原市老人クラブ連合会
(小田原創友クラブ)
会長 杉崎 勲

昨年小田原創友クラブは半世紀を経過し、心新たに会員の皆様と共に「健康・友愛・奉仕」の3本の柱を基に活動を続け、ゆとりと楽しさのある高齢者社会を目指しております。

そこで近年明るく、安全で、安心な元気なまち

就任のご挨拶



総務部
大友 昭夫

平成28年度の役員改選に伴い、総務部長を拝命いたしました大友昭夫でございます。前任者の大井川悦雄様の後継者として、創友クラブのために任務を全うしたいと思っておりますので、会員皆さま方のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

平成26～27年度の2年間、教養部を担当し「小田原創友クラブ」の発行、老人大学の開講等、特に去年は創立50周年記念誌「50年のあゆみ」の編集に際しまして、内外の皆さま方からご協力を頂きありがとうございました。ここ

に紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、小田原市老連(創友クラブ)としては、市内26地区老連134単位クラブ間の連絡調達を密にし、会員相互の親睦と会員の健康増進、並びに教養をより一層高めるための各種事業を企画展開することが目標とされております。これ等を年間を通して円滑に実施運営できるように努めるのが、総務部の任務であると思います。

現在「加入促進」「見守り活動」等永遠の課題がありますが、会員相互の支え合いの礎となるよう進める必要があります。

今後健康保持により高齢化が進み、より元気な会員がもつと増えると思います。健康長寿に暮らすための取り組み

参加し話しあって取り組み、夫々の活動などをまとめております。

小田原創友クラブでも各地域にあるコミュニティに積極的に参加し、成果を上げ評価されている地区もあります。活動実例をあげますと、

◆「高齢者見守り活動」(昔我・下府中・上府中地区他)
◆「地域子育て広場と交通安全の支援」(緑・新玉地区他)

が必要となり、是非とも創友クラブ会員皆さま方のご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。



厚生部
北村 時夫

平成28年度小田原創友クラブ地区会長の一部が改選されました。新しく理事になられた方も含め、希望に基づいて任命をされることになり、厚生部担当は再任4名、新規2名の6名の構成となりました。

部会としての業務は春秋の研修旅行、及び友愛チームリーダー研修会です。

旅行については、まず部会のメンバーで内容を十分に検

◆「健康ふれあい世代間交流ウォーキング」(幸・富水地区他)

◆「老人会員加入促進パンフレットの作成と配布」(上府中地区)

◆「地区内ラジオ体操の実施」(豊川地区他)

◆「海岸クリーン清掃と防災」(山王網一色幸酒匂・前羽地区他)

◆「防犯パトロール・交通安全教室」(万年・芦子・下中地区他)

28年6月現在、この活動に参加している地区老連クラブは、創友クラブ

討します。楽しく、心にゆとりのある旅をすることが目的で、最終的には理事会で内容を説明し、確認をして決定になります。

友愛チーム研修会では、必要に応じた講師を招いて学んでいます。学んだことを各自が持ち帰り、各チーム活動の中で意見交換を重ねていくことで、より良い福祉活動ができるのではないかと考えています。

旅行、研修会等については会員の皆さまからのご意見がありましたら事務局までご連絡をいただければ幸いです。

厚生部一同で協力し合い、会員の皆さまに喜んで頂けるように頑張りますので、今後も皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

全体から見るとまだ少数であります。

益々高齢化社会が進む今、行政当局からの呼びかけや、地区自治会連合会、民生児童協議会、地域包括支援センター等各種市民団体との連携がより一層必要になってきたと思います。

地域コミュニティでの情報交換は必ず創友クラブの大きな糧となると思います。是非創友クラブの輪を広げるために地域コミュニティと共に活動しましょう。



財務担当
浅岡 綽



財務担当
宮本多喜子

財務担当再任に当たり、ご挨拶申し上げます。

当会の財務は、一般会計及び特別会計(福祉友愛募金特別会計)の二本立てで運用しております。一般会計の内事業費については、会長の特段のご努力と、理事の皆さまのご協力により、小田原市・小田原市社会福祉協議会・県老連からの補助金で運営されております。また運営費は、各単位クラブからの会費が主な財源になっております。近年の会

私たちは、小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



員減少による会の解散と、研修旅行参加者の減少は会費の納入減、収入減に繋がり非常に苦慮しております。しかし、会員の協力と各理事さんのご努力で何とか「頑張つて」おります。

一方、福祉友愛募金特別会計も会員の高齢化と長寿で、お目出たいことですがお祝い金の増加と、それに充当する資金(友愛募金等)不足で苦慮しております。

社会の変化と高齢化を取り巻く環境の変化の中で老人会活動の原点である「健康」「友愛」「奉仕」を実施する体制もままならないところではありますが「小田原市創友クラブ」のもとになっている「友を創る」ことを実現することが大変難しくなっています。

会の運営と事業活動はこれからも、小田原市・社会福祉協議会の更なるご理解と、会員皆さまお一人、お一人のご協力が欠かせません。是非とも、ご理解、ご協力が必要です。よろしくお願い致します。

結びに会員の皆さまと、非会員の高齢者の方々のご健勝とご多幸をお祈りし、再任のご挨拶といたします。



女性部長
市川 初江

4月に役員改選が行われた昨年度に引き続き女性部長という大役を仰せつかりました、市川でございます。今年度も会員の皆さまのお力添えを賜り、微力な私ですが女性部発展のために活動して参りたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

まず「食で生き生き! 栄養教室事業」は、小田原市高齢介護課とおだわら創友クラブの共催で開催し、各地区長の皆さまが女性部サポーターとして活躍されています。

食は心と体の健康を保ち、健康寿命を延ばし、明るい毎日を過ごしていただけるように計画しております。男女を問わず大勢の方々のご参加をお願い致します。

また、「老人大学事業」は、教養部の協力をいただき、講師の先生方との対話形式の集会を開催致します。日頃お尋ねしたいと思われていることを質問していただきながら、知識と教養を広めていただきたいと思います。

8月には「女性部の集い」と称し、女性の筋力低下について「健康運動指導士」を招いて講話会を開催する予定です。

9月には体育部の援助を頂き、「体力測定教室」を企画しています。体力作りは競うものではなく、自分の体力を確かめ、確認していきます。

女性部は、このような活動を通じて、会員の皆さまが心も身体も健康で、明るく楽しい毎日を過ごす事ができるように、沢山の活動を企画して参ります。ご協力をお願い申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。



体育部長
志村 善治

初めまして、この度平成28年度市老連役員改選に伴い、体育部長に就任いたしました志村善治でございます。何分にもまだまだ未熟者でございます。皆さま方のご支援、ご協力をいただき、体育部の任務にまい進する所存でございます。よろしくお願い致します。

市老連体育部の任務は、①クラブ運動会の開催

②クラブの運動向上のための指導

③老人運動の推進及び健康増進の3つです。これらを推進するために市老連として、次の行事を実施致します。

①西湘ブロック交流グラウ



ンドゴルフ大会(6月開催)

②会員の健康づくり事業の一環として体力測定等「健康づくり教室」を開催(9月)

③シルバースポーツ大会の開催(10月)

④おだわら創友クラブグラウンドゴルフ大会(11月開催)特に、シルバースポーツ大会においては、会員多数の参加による楽しい一日を過ごすと共に、各種の競技種目を通じて高齢者の健康保持と生きがいを高め、また仲間同士や他の地区の方々との絆を再確認する大会となっております。

これらの課題を達成するために努力してまいります。会員の皆さまのご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

なお、スポーツの競技は各地区でもいろいろと行われていると思いますが、会員の方々はこれらのイベントに積極的に参加され、スポーツを通して心身の健やかな成長を願うとともに、自分の体の健康維持と、自己の健康寿命を延ばしてください。会員の皆さまのご努力と、ご協力をお願いいたします。



教養部長
山口 繁

新年度の役員改選で教養部長の要職を拝命致しました山口 繁でございます。未熟者ですが一生懸命職務に励みますので、会員の皆さま方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

教養部の主な事業内容は①「小田原創友クラブ」の年2回の発行(1月・8月)は広報紙として広く会員に情報提供を求め、単体クラブや、地域の特徴などの紹介を企画し、多くの会員の参加をお願いいたします。

②「老人大学・年間5回の開講」は受講者120名で、「健康」をキーワードに病院の医師・薬剤師の方々の講義を、また介護保険について市の高齢介護課に講師をお願いしております。

③秋の「シルバー作品展」への出展要請と展示会開催シルバー世代の文化振興の啓蒙活動に協力します。

小田原には文化人が多く居住され、昔から文化の高い街です。先人から受け継いだ文化、芸術を大切にさらに発展させるために努力いたします。

最後に小田原創友クラブのさらなる発展と向上に寄与すべく皆さま方のご協力、ご支援をお願い致します。

私たちは、小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



総会開催

平成28年5月19日(木)、午前10時30分よりおたわら総合医療福祉会館4階ホールで平成28年度小田原市老人クラブ連合会総会が開催されました。

山口副会長の司会で始まり、北村副会長の《開会のことば》続いて杉崎会長の挨拶のあと、来賓の方々の紹介と小田原市副市長の加部裕彦様より祝辞をいただきました。

そして議長に上府中地区永塚睦会の平野義朋さんが指名され議事に入りました。

最初に平成27年度事業報告、平成27年度一般会計収入支出決算報告と福祉友愛募金特別会計収入支出決算報告、基金等積立金報告、50周年記念特別会計収入支出決算報告の説明があり、監査報告、質疑応答の後、議案は拍手で承認されました。

次に平成28年度の事業計画案、一般会計収入支出予算案、福祉友愛募金特別会計収入支出予算案の説明と積立金について説明があり、この議案も拍手で承認されました。

次に平成28年度の常任理事及び監事10名の紹介を行い、最後に志村副会長の《閉会のことば》で無事終了しました。

平成28年度新役員名簿

- ◇ 会 長
杉崎 勲（市老連専任）
◇ 副会長・総務部長
大友 昭夫（市老連専任）
◇ 副会長・厚生部長
北村 時夫（久野）
◇ 副会長・教養部長
山口 繁（山王網一色）
◇ 副会長・体育部長
志村 善治（下府中）
◇ 副会長・女性部長
市川 初江（芦子）
◇ 財 務
浅岡 綽（緑）
宮本多喜子（片浦）
◇ 監 事
山口 忍（山王網一色）
石井 宏安（曾我）
◇ 理 事
伊藤 勝彦（新玉）
伊豆川 毅（万年）
朝見 健夫（幸）
辻 喜治（十字）
椎野 政秋（足柄）
穂坂 理弘（芦子）
石川 辰男（二川）
熊坂 太郎（富水）
本間 豊（東富水）
鈴木 幸一（大窪）
秋山 和雄（早川）
片山 勝（桜井）
水野 宏（豊川）
小泉 郁夫（上府中）
関野 弘行（下曾我）
鈴木 清治（国府津）
栗原 稔育（酒匂）
鳥居 明男（曾我）
杉山 栄一（前羽）
津田 政宏（下中）
加賀 方雄（富士見）

平成 28 年度 西湘ブロック老連交流 グラウンドゴルフ大会 表彰者

6月1日(水)開催。1市3町から94名の選手が参加。

入賞

順 位	氏 名		スコア	ホールインワン
優 勝	小田原	杉山 次郎	35	2
準優勝	箱 根	岩田 光夫	38	1
第3位	小田原	大川 陞一	38	1
第4位	小田原	高橋 良明	41	—
第5位	小田原	岩田 邦夫	42	—

※準優勝、3位は同スコアのため、生年月日により順位決定

BB 賞

順 位	氏 名		スコア	ホールインワン
第93位	真 鶴	露木 芳江	61	—

ホールインワン賞

No.	氏 名	
1	湯河原	宮川 茂子
2	小田原	林 昌三
3	箱 根	栗田 重雄
4	小田原	石井 靖雄
5	小田原	杉山 次郎 (2回)
6	箱 根	勝又ウメ子
7	小田原	杉山 要
8	湯河原	朝長美知子

No.	氏 名	
9	小田原	松嶋 克夫
10	湯河原	丸塚 博康
11	湯河原	安慶名ウメ子
12	箱 根	土屋つや子
13	真 鶴	松浦 武
14	小田原	大川 陞一
15	小田原	川本 博之
16	箱 根	岩田 光夫

私たちは、小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

平成 28 年度 第 51 回 小田原市老人大学

① 趣旨
高齢期における生活に潤いを与え、かつ充実した生きがいのある生活を送るにふさわしい教養を培うことを主眼としてこの大学を開催する。

② 主催
小田原市老人クラブ連合会

	日 時	内 容	講 師
第 1 回	7／28(木) 13:30～ 15:30	開講式 ・講話 「認知症について」	武井内科医院 院長 武井 和夫 氏
第 2 回	9／1(木) 13:30～ 15:30	・講話 「最後まで口から食べる」 じょうずな歯医者者の使い方	安西歯科医院 院長 安西 由充 氏
第 3 回	11／30(水) 13:30～ 15:30	・講話 「高齢者のお薬について」 あたは薬を飲み過ぎてませ んか？	小田原市薬剤師会 介護保険委員会担当 理事 斉藤 昌久 氏
第 4 回	1／19(木) 13:30～ 15:30	・講話 「介護ほけんについて 1」	小田原市高齢介護課
第 5 回	2／15(水) 13:30～ 15:30	・講話 「介護ほけんについて 2」 ・閉講式	小田原市高齢介護課

④ 会場
おだわら総合医療福祉会館 4階ホール

⑤ 受講者
定員120名（女性部員30名を含む、尚非会員の参加も含む）

⑥ 第 1 回～第 3 回は、講座終了後 講師と女性参加者との対話集会を行います。

⑦ 修了証書
4回以上出席の方に授与

※受講者は筆記用具をご持参ください。
※おだわら総合医療福祉会館には駐車場がありませんので、車はご遠慮ください。
ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

平成 28 年度 事業計画

- (1)社会見学と研修旅行・・・・・・・・・・〔春：4 月…京都・宇治方面〕
〔秋：9 月…宮城蔵王・米沢方面〕
- (2)女性部研修会「食で生き生き！栄養教室」・・・・・・・・
〔4 月～2 月：全 13 回〕
- (3)小田原市慰霊塔清掃奉仕・・・・・・・・・・〔5 月～3 月〕
- (4)平成 28 年度市老連総会・・・・・・・・・・〔5 月 19 日(木)〕
- (5)友愛チームの活動推進および研修会・・・・・・・・・・〔6 月 27 日(月)〕
- (6)第 51 回老人大学・・・・・・・・・・〔7 月～2 月：全 5 回〕
- (7)友愛活動と支援事業「女性部のつどい」・・・・・・・・・・〔8 月 3 日(水)〕
- (8)広報誌「小田原創友クラブだより」の発行（年 2 回：8 月・1 月）
- (9)友愛募金運動の推進・・・・・・・・・・〔8 月～9 月〕
- (10)健康づくり（体力測定）と事業の推進・・・・・・・・
〔女性 9 月 7 日(水)・男性 9 月 8 日(木)〕
- (11)社会奉仕の日・・・・・・・・・・〔9 月 20 日(火)〕
- (12)単位クラブの強化推進（加入促進運動）・・・・・・・・・・〔10 月～3 月〕
- (13)生きがいふれあいフェスティバル・シルバー作品展・・・・・・・・
〔10 月 15 日(土)～16 日(日)〕
- (14)老人クラブ開放・地域連携モデル事業・・・・・・・・・・〔10 月 16 日(日)〕
- (15)第 43 回小田原市シルバースポーツ大会・・・・・・・・
〔10 月 25 日(火)※予備日 26 日(水)〕
- (16)小田原創友クラブグラウンドゴルフ大会・・・・・・・・
〔11 月 9 日(水)※予備日 10 日(木)〕
- (17)市老連大会・・・・・・・・・・〔11 月 15 日(火)〕
- (18)単位クラブ会長等研修会・・・・・・・・・・〔2 月上旬〕
- (19)小・中学校の児童・生徒との交流及び防犯ボランティアパトロールの推進
- (20)その他、小田原市及び地区の行事に参加協力
- 【西湘ブロック関連事業】
- ①西湘ブロック老連連絡協議会の開催……〔4 月 19 日(火)開催：小田原市〕
- ②西湘ブロック老連交流グラウンドゴルフ大会・・・・・・・・
〔6 月 1 日(水)※予備日 2 日(木)〕
- ③高齢者訪問支援推進員養成研修会・・・・・・・・・・〔未定：箱根町〕
- ④単位クラブリーダー新任会長等研修会……〔7 月 12 日(火)開催：真鶴町〕
- ⑤ゆめクラブ大学事業・・・・・・・・・・〔8 月 24 日(水)〕
- 【その他の活動】
- ①国旗掲揚 ②在宅福祉事業への協力 ③県老連事業への参加協力
- ④高齢者健康診断及び健康講座への参加 ⑤歩け歩け運動への参加協力
- ⑥敬老週間行事への参加協力 ⑦環境美化活動の推進 ⑧交通事故防止の推進
- ⑨小田原シルバー人材センターへの加入促進 ⑩青少年育成会に協力

私たちは、小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

単位クラブ 活動報告



早川地区

早川老友会
会長 西島 朗
◎会員数

男性 13名
女性 29名
合計 42名

◎クラブ結成時期
昭和35年10月20日

紀宮老人会
会長 秋山 和雄
◎会員数

男性 20名
女性 29名
合計 49名

◎クラブ結成時期
昭和38年3月25日

早川地区は、紀ノ宮老人会と早川老友会の二つのクラブがあり、歩け歩け運動、各種スポーツの集い、施設見学、研修旅行、また清掃美化活動として「花いっぱい運動」や地域行事への参加など生きがいを高め健康づくりにつながるいろいろな活動を行っております。

高齢化社会が進む中で高齢者の自主的、自立的な取り組みはますますその重要性を高めているものと思われまふ。とりわけ地域と密着しての健康づくり、生きがいづくり、そして地域ボランティアとして幅広い分野での活動が、来たる時代を豊かな地域として築く担い手と思われまふ。

少しばかり粹がつておりますが、私たちみんな安全で安心して明るく、楽しく暮らせる町づくりに年寄りができることはやっていこうと張り切つて活動しております。

概ね60歳位からクラブへの入会をお願いして活力あるクラブとして、地域に少しでも貢献したいと考えております。

(文・早川老友会 西島 朗)

万年地区

高寿会(十八区)
会長 杉崎 岩男
◎会員数

男性 20名
女性 35名
合計 55名

◎クラブ結成時期
平成元年3月31日

私たちの老人クラブは以前からありましたが、活動はあまり活発とは言えませんでした。しかし平成元年になって、前会長と会計担当の役員が中心になつて『高寿会』と会名を改め、市老連に加入後は活動も活発になりました。

会費は当初200円で出発し、これで食事代をまかないながら、公民館にカラオケ設備があつたため、しばらくの間は食事のあとでカラオケを楽しむことができました。しかし、その後の物価の推移もあり会費を300円にしないと食事の提供が困難になつてきたため会員に相談して値上げを了解していただきました。

私が会長に就任後に自治会が呼びかける町内の児童公園の清掃や、美化運動の一環である花の交換、更に万年地区合同の海岸清掃に全面的に協力することなど、『高寿会』

の活動範囲の拡大に努力してきました。

近年ではカラオケを唄つたり聴くだけでは物足りない会員の意向を考慮して、カラオケ以外に「まんが日本昔話」シリーズの上映会や、賞品が得られる「ビンゴゲーム」等を楽しんでおります。

これらの教訓から、今後も会員の意見を大いに参考にしながら、「楽しい高寿会」づくりに励みます。

(文・高寿会 杉崎 岩男)



万年地区

萬寿会(十七区)
会長 柚木福太郎
◎会員数

男性 14名
女性 16名
合計 30名

◎クラブ結成時期
平成26年3月31日

私たち十七区萬寿会は今年で発足して3年目を迎えました。私たちの老人クラブは以前市老連に加入しておりましたが、その後活動が停滞し自然消滅の形で脱会しました。

3年前に前会長の協力を得て会を再発足し、市老連に加入致しました。

私たちの地区は旧市内で昔は『よろずちやう』(萬町)

と言われておりました。以前はこの狭い区域に250世帯もの人々が生活していたようです。例えば、大工・船大工・車大工・鳶職・左官屋・畳屋・桶屋・建具屋・ふろい屋・鍛冶屋などの多くの人々が生活しておりました。また、この地域は東海道に面しており蒲鉾の工場が多く、現在は「かまぼこ通り」と呼んでおります。

私たち老人会の役割は町内の氏神様の「天王神社」の管理です。初午や6月の天王神社祭の手伝いをしております。

毎月1日に社殿の清掃を行っております。その他町内の諸行事に積極的に参加しております。

(文・萬寿会 柚木福太郎)

国府津地区

田島ことぶき会
会長 小島 實
◎会員数

男性 16名
女性 16名
合計 32名

◎クラブ結成時期
昭和36年10月1日

田島福寿会
会長 米山 捷夫
◎会員数

男性 17名
女性 19名
合計 36名

◎クラブ結成時期
昭和36年10月1日

ことぶき会・福寿会あわせて68名。日頃の活動状況について報告いたします。

明るく楽しいふれ合いの場、お互いに思いやり助け合う場、残された人生をいかに生きるかを悟れる場を設定し、老人会活動の運営をしています。

年間の定例事業は津島神社と田島公民館の清掃を概ね毎月1回、月の半ばに実施し、親睦と融和情報交換などを行い、健康状態を確かめ合いながら触れ合いの場としております。

また、年に4回実施している定例会では昼食会・誕生会を行い相互に交流の場とし、市や警察にお願



二川地区

井細田1区ことぶき会

会長 石川 辰男

◎会員数

男性 33名
女性 27名
合計 60名

◎クラブ結成時期

昭和35年3月31日

第43区長寿会

会長 小林 良造

◎会員数

男性 21名
女性 41名
合計 62名

◎クラブ結成時期

昭和36年9月25日

多古親老会

会長 田淵 需延

◎会員数

男性 59名
女性 89名
合計 148名

◎クラブ結成時期

昭和35年9月18日

二川地区は名前の由来通り、酒匂川と山王川に挟まれた地域です。明治23年の村制度設立の際多古・井細田今井が合わさり二川村という名前が誕生しました。明治43年に久野・芦子・富水と合併して足柄村になり二川は行政地名からなくなっていました。

海岸はなく山に面しています。が、坂も少ない平地で繁華街はなく、普段は人通りも少なく、足柄小学校と白山中学校と、2つの氏神社と、3つの私鉄最寄り駅があるごく一般的な地域です。

このような中で、二川地区老連の役員会(15名)を月1回設け、市老連理事からの伝達の徹底を図り、単位クラブが切磋琢磨することを行っています。

市老連行事への参加以外の主な活動内容として

①生活を豊かにする活動

新年会・総会時の懇親会・温泉1泊旅行(年1、2回)サロン活動(講演の拝聴)歌の集い(カラオケ)舞踏・コーラス・動く市政教室への参加・出前講座設定

②地域を豊かにする活動

酒匂川・久野川の清掃・神社境内の清掃(月1回)主要道路の清掃・足柄小PTAふれあい広場へ参加小学校登下校時の見守り



③健康を維持する活動

歩こう会ゲートボールペタンク・グラウンドゴルフ等への参加
足柄学区健民祭への積極参加

④会員の絆を高める活動

月例定例会の開催・会員への月例通信の発行・会員数の減少と高齢化が悩みで、新会員増強促進のためには、自治会行事にできるだけ参加し、存在感を地域で認めてもらうことが大事ではないかと思っています。

(文・井細田1区

ことぶき会 石川 辰男)

幸地区

小峰会

会長 朝見 健夫

◎会員数

男性 20名
女性 44名
合計 64名

◎クラブ結成時期

昭和45年3月31日



幸地区は、小田原城を中心にして周囲を7つのクラブが囲んでいる地域です。クラブ名『小峰会』は、結成当初「第二仲良し会」という名称でしたが、当時子供会に似たような名称があり、昔この地は『小峰山』という名で呼ばれ、江戸時代中期には重要家臣の武家屋敷が点在していたと聞いております。小田原城の裏手の高い一帯を小峰山と称し、その名をとって『小峰会』というクラブ名になりました。

当クラブの活動は、毎月1回スポーツ会館・藤棚交差点で三の丸小学校学童の交通安全並びに一声かけ挨拶運動・毎月1回国安通りのさつき植込みの雑草取りと清掃を行っております。

また、月に1回定例会を開催し情報伝達と課題の理解と、小峰会が足並みそろった活動ができるように話をしていきます。

年間行事としてサービスチームと友愛チームのお花見会・三の丸小学校三世代交流会(10月頃)社会奉仕の日に御幸が浜の清掃・その他自治会・市老連・幸い老連の行事に参加しています。

当地区も少子高齢化の社会において地域コミュニティが希薄化しており、今後は自治会・社協民生との協力のもと、高齢者の支援に取り組んでいく所存です。



いして交通事故や、振り込め詐欺の未然防止のための講演会などを実施しております。

今年度からは更に体と頭の活性化をはかるために娯楽(囲碁・将棋・麻雀・カラオケ)や、俳句・花見健康体操・歩こう会・入湯会・鑑賞会(絵画・史跡・映画)等を企画して残り少ない人生をいかに楽しく過ごそうか、充実した生きがいを目指して頑張っております。

(文・ことぶき会 小島 寛)

特に、自治会に協力をいただき地域活動を活性化させるため、体に負担のかからないスポーツ同好会(例えばグラウンドゴルフなど)の立ち上げに力を注ぎ、仲間を集い地域の活性化に結び付けたいと考えております。

また、地域の環境美化としての雑草取りや清掃作業・登下校児童の交通安全の一環としての一声かけ運動(挨拶運動)には今以上に頑張っていこうと考えています。

(文・小峰会 朝見 健夫)



市老連主要行事報告（平成 27 年 10 月～平成 28 年 3 月分）

月	日	事業(会議)名	内 容	場 所
9	28 ～30	秋季研修旅行	第1班 緑・東富水・豊川・芦子・早川・大窪・十字・幸・山王網一色 地区	～富山の絶景 雨晴海岸と加賀百万石金沢を訪ねて～越中八尾「おわら風の盆」特別鑑賞と曳山展示館 参加者268名
	30～ 10/2		第2班 久野・下府中・国府津 地区	
10	5～7		第3班 上府中・下曾我・片浦・二川・桜井 地区	
	7～9		・第4班 曾我・富士見・富水・前羽・万年・足柄・新玉・下中 地区	
	1	女性部研修会 (市高齢介護課共催)	「食で生き生き!栄養教室」 (Fブロック 前羽・下中地区対象)	前羽福祉館
	10	慰霊塔清掃	十字・二川・下曾我 地区	市慰霊塔
	16	生きがい ふれあい	シルバー作品展搬入 シルバー作品展展示	いそしぎ
	17 ～18	フェスティバル シルバー作品展 *出品331作品	シルバー作品展展示 三世代交流事業	
	19	シルバースポーツ 大会実行委員会	第42回 シルバースポーツ大会について	
		財務部会	上半期予算執行状況確認	おだわら総合 医療福祉会館
	23	西湘ブロック 「高齢者訪問支 援推進員養成 研修会」	・講演「～転ばないからだをつくろう～」 講師 健康運動指導士 高垣 茂子氏 ・情報交換会	湯河原町 保健センター
	27	第42回 シルバー スポーツ大会	準備	酒匂川 スポーツ広場
	28		優 勝 十字地区 準優勝 曾我地区 第3位 片浦地区	
11	4	中間監査 常任理事会・理 事会	・中間監査報告 ・市老連創立50周年記念大会について ・老人クラブ加入促進について ・福祉友愛募金のお礼と報告について ・西湘ブロック単位クラブリーダー・新任会長等研修会について ・シルバースポーツ大会結果について他	
	10	慰霊塔清掃	酒匂・久野 地区	市慰霊塔
	11	小田原創友クラブ グラウンドゴルフ 大会	準備 大会開催	酒匂川 スポーツ広場
	18	市老連創立50 周年記念大会	・式典 特別表彰:10名 一般表彰 団体:2団体 功労者:22名 ・「記念落語」 柳家三三 様 ・各地区芸能大会	市民会館
	25	老人大学第3回 女性部と 医師との 対話集会第3回	・講話 「お薬手帳の必要性について」 講師 小田原薬剤師会 鈴木賢治先生	おだわら総合 医療福祉会館
	26	女性部研修会 (市高齢介護課 共催)	「食で生き生き!栄養教室」(Cブロッ ク 足柄・芦子・二川・久野地区対象)	生涯学習 センターけやき
12	10	慰霊塔清掃	富水・東富水・曾我地区	市慰霊塔
	15	常任理事会 厚生部会	春季研修旅行見積検討会	おだわら総合 医療福祉会館
	15	常任理事会・ 理事会	・会員加入促進について ・単位クラブ会長研修会について ・春季研修旅行について 他	
	16	西湘ブロック 「単位クラブ リーダー・新任 会長等研修会」	・講演「振り込め詐欺・悪質商法につい て」 講師 神奈川県くらし安全交通課 職員 高山氏・黒須氏 ・講話「老人クラブ会長としての心 構え・新地域支援事業について」 講師 県老連事務局長 小澤茂氏	箱根町 老人福祉 センター
	18	教養部会	創友クラブ第66号について	おだわら総合 医療福祉会館

月	日	事業(会議)名	内 容	場 所
1	10	小田原市民 功労賞贈呈式	小田原市民功労賞 受賞 懇親会	市民会館
	12	常任理事会・ 理事会	・会員加入促進について ・単位クラブ会長研修会について ・春季研修旅行について ・50周年記念誌の配布について 他	おだわら総合 医療福祉会館
	21	老人大学第4回	・講話「介護保険の話」 講師 市高齢介護課 介護給付係 竹内宏延氏	おだわら総合 医療福祉会館
		女性部研修会 (市高齢介護課 共催)	「食で生き生き!栄養教室」 (Aブロック 緑・新玉・万年・幸・ 山王網一色 地区対象)	保健センター
2	2～3	単位クラブ会長 研修会	・講話「昨年の犯罪状況と 振り込め詐欺について」 講師 小田原警察署 生活安全課 警部補 村田吉則氏 巡査部長 新倉公彦氏	ホテルおかだ
	10	老人大学第5回	・講話「介護予防・日常生活支援総合事業で 提供される小田原市独自の新しいサービス について～新しい担い手のみなさまへ～」 講師 市高齢介護課 主査 小野貴朗氏 「アクティブシニア応援ポイント事業につ いて」講師 市高齢介護課 副課長 川口孝典氏 ・閉講式	おだわら総合 医療福祉会館
	25	女性部研修会 (市高齢介護課 共催)	「食で生き生き!栄養教室」 (E・Fブロック 国府津・酒匂・富士見・ 下府中 地区対象)	川東 タウンセンター マロニエ
	29	女性部	・平成28年度事業について、市高齢介護 課との打合せ	おだわら総合 医療福祉会館
	3	3	・平成28年度単位クラブ市補助金について ・市「敬老行事の在り方に関するアンケート」 について ・平成28年度春季研修旅行について ・友愛チーム関係提出書類について ・平成28年度市老連役員改選について ・女性部会の開催について ・平成28年度単位クラブ役員等報告書に ついて ・加入促進運動の報告書について 他	
	10	慰霊塔清掃	豊川・上府中・山王網一色 地区	
	14	厚生部会	春季研修旅行しおりの作成について	
	17	旅行責任者会議	春季研修旅行説明会	おだわら総合 医療福祉会館
	24	女性部会	・平成28年度女性部役員改選について ・平成27年度女性部事業報告について ・平成28年度女性部事業計画について ・その他	
		理事会	・役員改選について 常任理事および部門部長の選任 監事の選任 各部門理事の選任 ・小田原市高齢者協定保養所事業について ・平成28年度慰霊塔清掃奉仕の日程 ・100歳会員の調査について 等	
	27～ 29	春季研修旅行	第1班 久野・東富水・芦子・片浦・下府中・ 大窪・早川・足柄・山王網一色・富士見地区	
	30～ 4/1		第2班 曾我・上府中・下中・国府津・桜井・ 豊川 地区	京の桜名所と 世界遺産を訪 ねて ～特別開扉 東 寺五重塔初層 内部と宇治川 畔桜並木散策 ～ 参加者292名
	4		第3班 前羽・下曾我・新玉・万年・緑 富水・幸・十字・二川 地区	

旅行記

平成28年度 春季研修旅行
「京の桜名所と
世界遺産をたずねて」

芦子地区
市川 初江

今回の旅行は、「特別開扉東寺五重塔初層内部と宇治川畔桜並木散策」を楽しみに、車窓を眺め京都市内へ向かった。天候が落ち着かず心配をしていたが、一つ目の見学地東寺に着きホッと安心した。私たちの気持ちを察して雨雲たちも逃げていったようだ。

東寺は創建以来1200年の間に幾度も台風、雷火、兵火等の災害を受け堂塔の大半を焼失したがその都度一般民衆の信仰の強さで再建され、古都の玄関の象徴として今日に至っている。世界遺産でもあり国宝の五重塔は外から眺めると5階建てに見えるが、内部は吹き抜けであり3本の柱で通されている。芯柱は大日如来に見立て、その周りには金剛界四仏と八大菩薩を安置してある。見事である。遙かなる時を超えても心に響く技法はバスでの長距離移動も吹き飛ばほどの心安らぎを覚え拝観し、日本人の素晴らしき心を感じた。長旅の癒しを求め湯の花温泉

「溪山閣」へ向かい舞妓さんの出迎えに京都にきた甲斐を感じた。夕食はカラオケで大いに盛り上がり楽しい時間を過ごした。

2日目は、世界遺産・黄金の舍利殿拝観。漆の上から純金が貼ってあり3つの様式を見事に調和させた室町時代の代表的な建物である。池泉回遊式庭園を散策し、黄金色の金閣寺を拝観して再度日本人の技術に感銘した。

京都の桜の名所として名高い、400本の桜の開花を楽しみに平野神社へ参拝した。桜はまだ少し早い様子で、桜の蕾も恥かしいようだ。癌封じとして名高い稗田野神社に参拝し健康長寿を祈願。本日も湯ノ花温泉溪山閣で疲れを癒し仲間同士の楽しい時間を過ごした。

3日目。お留守番の家族への気持ちばかりのお土産タイムを迎え、京都らしいお土産を選んだ。

この旅で3つ目の世界遺産平等院鳳凰堂に向かう。朱色の建物に屋根の金色の鳳凰が素晴らしい。古都京都の文化財だ。浄土式庭園を散策した。宇治川沿いの桜並木も恥ずかしがり屋さんだ。また来てねと言わんばかりに蕾の様子。あっと驚くほどの開花はまたのお楽しみになった。

あつという間に世界遺産を訪ねる旅も帰路へ向かう。春季研修旅行が終わりに近づく。3日間が天候に恵まれ、参加者全員が無事に楽しい研修を終えた。

創友クラブ 春季研修旅行の思い出
「京の桜名所と
世界遺産を訪ねて」

幸地区 小峰会
朝見 健夫

京都2泊3日の旅行は3月27日から4月5日にかけて3班に分かれて実施されました。我々は第3班で4月3日から5日にかけて執り行われました。当日は小雨の降る中、3地区乗合で1台のバスに乗り小田原を出発して足柄サードエリアで他のバスと合流、結団式を行い一路京都へと2泊3日の旅行が始まりました。途中のサービスエリアで集合遅れや、転倒事故があったが大事に至らずバスは世界遺産の東寺に到着した。

東寺の五重塔特別開扉で内部の拝観をした。五重塔の建築構造は素晴らしく塔芯が各層毎に軸部・組もの軒をくみ上げ、これを最上層まで積み上げる構造になっている。

地震のエネルギーは接合部分で吸収され、上層へ伝わるにつれて弱くなるとともに、下と上の層が互い違いに振動することになる。現代の高層ビル建築の礎になった様だ。平安時代にこのような建築構造が考えられ、施工されたことは、先人たちの技術力に感心するとともに大変感動した。

次に金堂を拝観した。桃山時代の代表的な建造物で、薬師三尊・十二神将の仏像を拝観し、心が癒される思いがした。

五重塔の近くの満開の桜を堪能して東寺を後にした。小雨の中、宿泊地の湯の花温泉溪山閣に到着した。ホテルのロビーで舞子さんに出迎えられ記念写真を撮った。

2日目は朝から小雨の降る中を金閣寺に向かった。3号車には晴れ女が乗っているとのこと、これが効いたのか金閣寺に到着前に雨もあがり濡れずに拝観できた。

高校の修学旅行以来で、遠い記憶が戻ってきたように感じた。池に映える金閣寺を拝観し次の見学地の桜の名所平野神社に向かった。晴れ女の神通力が薄れたのか、参拝時に雨が強くなり急いで参拝を終えてバスに戻り、昼食をとる八つ橋庵と刺繍やかたに到着した。

昼食後は市内観光巡りをしながら次の見学地大石酒造に向かった。五条大橋を渡ると右手に牛若丸と弁慶の戦っている人形があると聞いていたが、これが何とも言えない可愛い人形で一同大笑いであった。道中桜が満開でとても素晴らしく京都の桜を満喫することができた。

3日目は平等院を中心に最後の京都を見学して一路小田原に帰る工程である。まずは丹波の黒豆の老舗「豆屋黒兵衛」に立ち寄り土産の物色をしたのち、宇治の平等院へとバスは走った。

平等院は永承7年関白藤原頼通によって父道長の別荘を寺院

に改め創建された。翌年の天喜元年に阿弥陀如来を安置する阿弥陀堂が建立された。その建物が鳳凰堂と呼ばれている。庭園は浄土式の借景庭園として史跡名勝に指定されている。

平等院を囲むような阿字池に映える平等院は金閣寺同様に見ても飽きずに心が落ち着く。

平等院近くの茶屋で昼食をとり宇治川畔の桜並木を散策した後、バスは小田原に向かって出発した。山間部に入ると山の中に満開の山桜が点在し小田原ではなかなか見られない景色が心に残った。

道中バスガイドの歌を聴きながら無事小田原に到着した。
(写真は12面に掲載しています)

—— 私たちは、小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています ——



「熊本地震災義援金」の
街頭募金活動に参加して

下府中地区 志村 善治



「おだわら社協」主管の「熊本地震災義援金」募金に伴う街頭募金に参加して、私の心に残ったことを以下の通り記述します。

大型連休に入った4月29日に街頭募金に参加した。集合場所へ15分前に到着すると、募金活動の主管である「おだわら社協」の皆さんによる募金活動の準備が全て整っていることに驚きました。これまでも街頭募金に参加しているが、ここまで周到に準備しておられるとは、私なりに募金活動にファイトで当たらねばと痛感した。

所定の募金活動場所に移動し、まずは第一声「皆さんおはようございます。熊本地震災義援金にご協力をお願いします」。繰り返し、また繰り返し声を掛け続ける。2、

3分経過後、中年男性から『少ないけど』と言いながら募金をしていただいた。「ありがとうございます」と一礼すると『頑張れよ...』と励まされた。

階段を勢いよく降りてきた若者『頑張つてよ、これから熊本に行つて頑張つてくるからね』と募金箱に紙幣をねじ入れた。「気をつけてな」と声を掛けたが新幹線改札方向へ走り去った。

通行人の中に海外の方も多く、目を見ながら声を掛けると、右手をスポンのポケットに入れ、硬貨を驚掴みで取り出しその中から500円硬貨を入れていただいた。「サンキュー」と返礼...

気立ての良さそうな中年の女性が、新幹線改札口方面から歩いてきた。かけ声に気付いたのか、目が募金箱の方を見て近づくと財布から無造作に万札を取り出し『被災した方々が早く困難を乗り越えてほしいですね』と言って募金をして頂いた。「ありがとうございます」と返礼した。

募金活動も終盤に近付いた頃、エスカレーターに乘ろうとした女性がかげ声にふと立ち止まった。女性の目と我々の目が合つと、女性は引き返して近寄り募金箱へ紙幣を入れながら『頑張つて下さい』と言...。「ありがとうございます」と返礼した。

被災地の皆さんを、みんなで支えていく大切さを忘れてはならない。

被災地の状況を脳裏に浮かべ「ご協力お願いします」の願い事は、相手の目を見て、会釈をし、大きな声で「ありがとうございます」と言いました」を繰り返すことが大切であることを勉強した。

募金活動は午前中の短い時間であったが、募金活動前に思っていた「義援金が沢山集まるといいな」の心配事は消えていた。募金箱は相当重く、たくさん義援金募金できたものと、私なりに満足した次第です。

平成28年度 小田原創友クラブ秋季研修旅行

紅葉の宮城蔵王と城下町米沢・南東北2泊3日の旅

(お1人様)

蔵王を望む宿「遠刈田温泉さんさ亭」と

5つ星認定の宿「穴原温泉吉川屋」

42,000円

～蔵王お釜・上杉神社・国宝白水阿弥陀堂・塩屋崎・いわき復興の足跡～

日程	行 程
第1日	小田原市内各地=<東名・圏央道>=厚木PA(休憩・集結)=<圏央道・東北道>=那須IC=お菓子の城ハートランド(昼食)=那須IC=6:30～7:30発
	=<東北道>=白石IC=蔵王酪農センター(チーズ製品のお買物)=丑蔵庵(遠刈田伝統こけしの見学)=遠刈田温泉「宿泊」16:20頃着
	■ご宿泊ホテル 遠刈田温泉：さんさ亭 TEL：0224-34-2211
第2日	遠刈田温泉=<紅葉の蔵王エコーライン・ハイライン>=蔵王(お釜散策)=<R458>=よねおり観光センター(昼食)=8:45発
	=上杉神社(参拝)=酒造資料館 東光の酒蔵「見学・試飲」=<R13>=フルーツライン・あづま果樹園(季節の果物試食・お買物)=穴原温泉「宿泊」16:10頃着
	■ご宿泊ホテル 穴原温泉：吉川屋 TEL：024-542-2226
第3日	穴原温泉=福島飯坂IC=<東北道・常磐道>=いわき湯本IC=国宝・白水阿弥陀堂(参拝)=薄磯地区(復興中の風景を車窓見学)=8:30発
	=塩屋崎・美空ひばり歌碑(やまろくにて津波体験談)=小名浜・まるかつ本店(昼食・お買物)=いわき湯本柏屋(薄皮まんじゅう等のお買物)= =(※軽食食車にて)=<首都高・東名>=海老名SA(休憩・解散式)=小田原市内各地18:30～19:30頃着

※この旅程は運輸機関のダイヤ改正及び各地の道路状況等により多少時間が増減になる場合がございます。

※ 出発日より、見学順が増減になる場合があります。

班	日 程	地 区
1班	9/25(日)～9/27(火)	緑・新玉・久野・大窪・早川・山王網一色・豊川・下中
2班	9/28(水)～9/30(金)	万年・足柄・芦子・二川・東富水・下府中・桜井・片浦・富士見

班	日 程	地 区
3班	10/3(月)～10/5(水)	幸・十字・富水・上府中・下曾我・国府津・酒匂・曾我・前羽

■申込方法／もよりのクラブ会長様に旅行代金を添えてお申し込み下さい
■お問い合わせ／小田原市老人クラブ連合会事務局
TEL 0465 (32) 5800
もしくはもよりのクラブ会長様へ

旅行取扱会社
(株)小田急トラベル
小田原販売センター
TEL 0465(22)0801

1 泊目

宮城蔵王「遠刈田温泉 さんさ亭」

2 泊目

奥飯坂温泉「穴原温泉 吉川屋」

アルミの弁当箱

富水地区 飯田岡第一寿会

下沢 芳郎

私が小学校に通っていた昭和10年頃は、まだ学校給食はなくてみんな弁当持参であつた。弁当箱はアルミニウム製でした。

子沢山の時代で、子どもが多い家では一度に弁当が二つも三つも出るわけで、母親は弁当作りに苦労したと思います。

冷蔵庫が無かつた時代ですから、その日に食べられる物しか買えません。スーパーもなく、お店も少なかつたので弁当のおかずも限られていたのです。

弁当のおかずにしても、裕福な家の子どものおかずとそうではなかつた我が家のおかずには差があるのは子ども心にも分かつていました。でも隣の席の子の弁当にいつも卵焼きや、美味しそうなものが入っているのを見て羨ましく思ったことがあります。

我が家の弁当のおかずがどんなものだったかは昔のことで覚えていませんが、裕福で無かつた家の事情を考えると、分かるような気がします。

忘れられない弁当として海苔だんごの弁当があります。ご飯の上に醤油に浸した焼き海苔を乗せて、またご飯、その上に海苔を重ねるだけのものですが、ご飯に醤油がしみておいしかったです。

小学校では昼食の時間になると、当番の生徒が用務員室から白湯の入った大きなヤカンを持って来て、それを弁当箱の蓋に注いでお茶代わりに飲んでいました。学校からの帰り道ランドセルの中で空になったアルミの弁当箱がカラカラと音を立てていました。

会員文芸

俳句



片浦地区 相生クラブ 森本シズ子
・おひなさま若さの秘訣何ですか
母の齢はるかに超えて五月かな

富水地区 西北長寿会 熊坂 千枝
・八十路超え今日も無事なり冷奴
・大櫓日盛り公園影濃くす

酒匂地区 大道敬和会 小寺 光夫
・向日葵の先に山あり幸があり
・折りし人寄り添う人や吊るし雛
・乙女らの真白き脛や花菖蒲

下曽我地区 相生会 永吉 正子
・青梅や相生会に初参加
・子供会相生会の落葉掃き
・新年会笑顔のパワーあふれけり

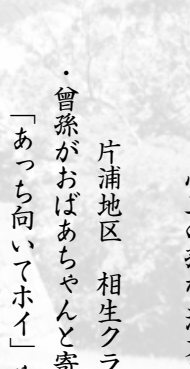
十字地区 銀本の会 生田目茂子
・鶯や今朝の茶柱 舌におき
・水族館左折が上手い 鯨かな

短歌



桜井地区 城北健寿会 杉山 久子
・何とりに2階へ上がって来たのだらう
思い出せずに階段降りる
・探し物ようやく見つけた嬉しさに
好みのCD大きくかける

川柳



酒匂地区 大道敬和会 小寺 光夫
・幼き日 蝙蝠捕った手触りが
茜にかざす掌に甦る
・驚いた回転寿司も電子化に
小二の孫が注文奉行

片浦地区 相生クラブ 森本シズ子
・曾孫がおばあちゃんと寄って来て
「あっち向いてホイ」やら
「ちゃちゃつぽちゃつぽ」
・真つ白なる白寿たるまに見守られて
来る日来る日を無事に過ごそう

片浦地区 相生クラブ 森本シズ子
・なんか変入れ蕎外したままだった
旅すれど行かない所は冥途だけ

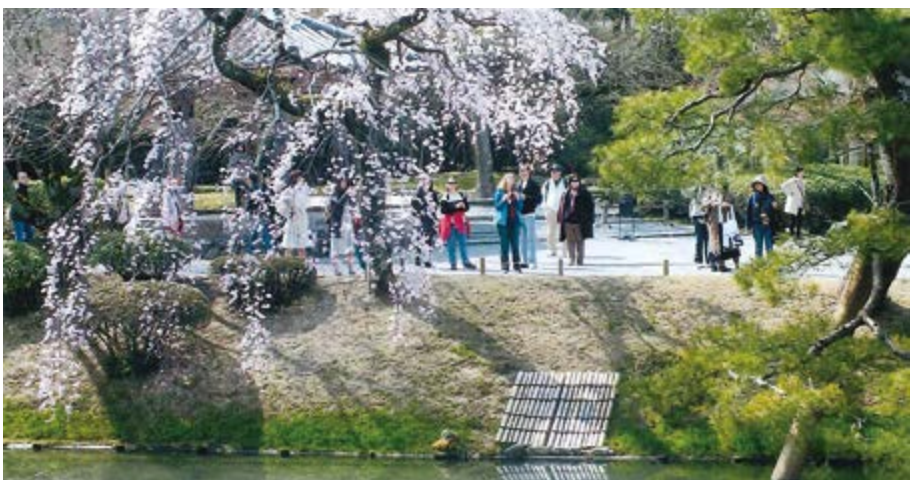
酒匂地区 大道敬和会 小寺 光夫
・老いが乗り老いが押してる 車椅子
・病みに病み間に蠢く影ふたつ
・想定外でも欲が出て医者通い

十字地区 銀本の会 生田目茂子
・研修と言う名の関係税を食い
・忘年会 菜と墓で盛り上がり

前羽地区 町屋長楽会 大井川悦雄
・地球儀を納屋から出させる テロ事件
・電話かけ 声聞き分けて 健康知る
・近頃は若妻民法 勉強し

私たちは、小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

平成28年度 春季研修旅行 京の桜名所と世界遺産をたずねて



◎「小田原創友クラブ」68号(29年冬号)に原稿をお寄せください。
単位老人クラブ活動記、日々の雑感(随想)、旅行記、俳句、短歌、川柳など。
*紙面の都合で長文の場合は分量をカットまたは次号回しにする場合があります。
*二重投稿、発表済みのものは受け付けません。
*活動記などは写真を添付してください。
*必ず氏名・地区名・クラブ名・電話番号を明記してください。

◎ 発行 平成29年1月 ◎ 締切日 平成28年10月15日

◆ 宛先

〒250-0055

小田原市久野115-2 おだわら総合医療福祉会館内

小田原市老人クラブ連合会「小田原創友クラブ」教養部

原稿募集

ご協賛いただいた皆様への御礼

このたびは、広報紙に広告のご協賛をいただき、誠にありがとうございます。本紙は紙面を通じて会員の交流・情報交換はもとより、地域の皆様に老人クラブの活動をご理解いただき、一層の交流の輪を広げるため発行するものでございます。以上の趣旨をご理解いただき、引き続き広告掲載のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【小田原市老人クラブ連合会】

会

員

加

入

増

強

運

動

期

間

中

で

す

平成26年から5カ年間で県老連では2万人の目標で実施致しております。

小田原創友クラブの推進項目として

- ◎ 未加入者宅にパンフレットの投函。
- ◎ 会員1人が新しい会員1名以上の勧誘をする。
- ◎ 未加入自治会の創友クラブの結成を計る。

※単位クラブ2名以上の増員が最低目標ですので皆さま全会員で努力しましょう。

あとがき

市老連創立51年目の新たなスタートの創友クラブ67号発行にあたり、投稿いただきました会員各位に心より御礼申し上げます。
本号よりカラー印刷を多く取り入れ、更に見やすい紙面にしました。日本の良き四季の色・匂い、会員相互の親睦の仲立ちをいただき素晴らしい「小田原創友クラブ67号」が出来上がりました。
教養部一同皆さまのご期待に叶う様に頑張りますので、ご支援よろしく願い致します。
(教養部)

私たちは、小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています
